

行政報告の主な内容（ 6 課 1 8 項目）

(1) 総務課	十勝岳噴火総合防災訓練について
	自衛隊関係について
(2) 保健福祉課	共生型事業について
	ファミリーサポートセンターについて
	特定健診・特定保健指導について
(3) 町民生活課	自治基本条例制定の推進について
	町税等の収納対策について
	確定申告の受付について
	地域省エネルギービジョン及び地球温暖化対策実行計画書の策定状況について
	不燃ごみ指定袋の切り替えの状況について
(4) 産業振興課	かみふらの牧場肥育舎の火災について
	青年農業者会議全国大会について
	雪まつりについて
	中国語研修講座について
(5) 町立病院	公立病院に対する財政措置の要請について
(6) 教育振興課	成人式について
	上富良野高校入学志願状況について
(7) 総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成22年3月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第1回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る12月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【総務班関係】)

はじめに、十勝岳噴火総合防災訓練についてであります。上川支庁地域災害対策連絡協議会及び十勝岳火山防災会議協議会主催で上富良野町と美瑛町と北海道上川支庁により、2月23日から24日の2日間日程で実施いたしました。防災関係機関であります旭川地方气象台、陸上自衛隊、北海道警察、上富良野消防署、消防団など多数の関係機関にご協力をいただいたほか、併せて関係機関独自或いは共同による訓練も実施いただいたところであります。

当町においては、9つの防災関係機関の参加により、1日目は非常配備体制構築、自衛隊災害派遣準備訓練、情報の収集と伝達訓練を主体に、2日目は職員非常招集、災害対策本部設置、自衛隊災害派遣要請、避難路確保、避難所開設、避難指示情報伝達、避難、道路閉鎖など、各種実働訓練を展開いたしました。

避難訓練では、緊急危険区域の住民を対象に8箇所の避難所を開設したほか、草分地区自主防災組織による避難訓練として6箇所の屋外避難所が開設され、参加の状況については、町全体で昨年より26世帯多い194世帯、人数も78人多い255人の参加をいただいたところであります。

自主防災組織の防災訓練への参加については、より多くの自主防災組織が参加いただけますよう、今後ともさらに働きかけてまいります。

また、防災訓練に併せて行われた関係機関の訓練では、西小学校避難所における救助・救出訓練と、避難指示区域における未避難者の確認訓練を陸上自衛隊・北海道警察・消防署・消防団により、避難所間における避難者輸送訓練を陸上自衛隊と北海道警察が連携し、ヘリコプターによる上空偵察訓練を陸上自衛隊と北海道が、地上偵察訓練と災害対策本部での野外用指揮システムの運用訓練を陸上自衛隊が、それぞれ実施いただくなど、各防災関係機関のご協力に対して改めて感謝申し上げますとともに、今後想定される十勝岳噴火災害に備えてまいります。

（総務課行政報告【基地調整関係】）

次に、自衛隊関係であります。現防衛計画の大綱の見直し等の作業が平成 22 年度以降に先送りされることとなり、12 月 21 日、北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会の要望運動が行われ、防衛省及び関係国会議員に対し、北海道の自衛隊体制維持を求める要望とともに平成 22 年度防衛予算編成の準拠となる方針の閣議決定に係る要望を行ない、翌 22 日には、防衛省、自衛隊の幹部の方々に上富良野駐屯地の現状規模堅持の要請を行なってまいりました。

1 月 14 日には、第 2 師団の冬季戦技競技会が上富良野演習場で開催され、第 2 師団管内から選手をはじめとする多くの隊員が集まり、各協力団体の熱心な応援のもと競技が行われました。

この大会には地元の第 2 戦車連隊から選抜選手が出場し、アキオの部で第 1 位と第 3 位の見事な活躍で総合第 3 位の成績を収めました。

2 月 4 日、東京において、町内に立地する企業を訪問し情報交換するとともに翌 5

日には、防衛施設周辺整備事業の関係で町基地対策協議会の役員による防衛省並びに関係の国会議員に演習場周辺整備事業に関する要望を行ってまいりました。

2月22日には、北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会の役員会が札幌市で開催され出席してまいりました。

(保健福祉課行政報告)

次に、子どもセンターでの共生事業についてであります。今年度に共生型ソフト事業の補助採択を得て、センター内の活動備品等を整備すると共に、高齢者、障害者、児童が一堂に会しての共生事業を催すよう計画し、1月31日に「わいわいらんど」を開催いたしました。当日は、子育て中の親子をはじめ、高齢者、障害者の団体等から延べ160名余りの参加者があり、それぞれの活動を披露するなど、楽しいひとときを過ごしていただくことができました。

次に、地域をあげて子育てを支援するためのファミリーサポートセンター事業についてであります。事業開始に向け会員募集の説明会を開催したところ2月24日現在、9名の方が会員登録していただける見込みでありますので、今後は、講習会を開き、会員として必要な知識を身につけていただいた上で、3月中の事業開始を目指してまいります。

次に、国民健康保険加入者の特定健診・保健指導についてあります。平成21年度の健診受診率は69.7%と昨年と同水準となっております。また、平成20年度の特定保健指導実施者の改善状況を本年度の健診で確認すると、内臓脂肪型肥満が14.5%減少、メタボリック予備軍が23.5%減少、メタボリック該当者が3.2%減少するなどの成果を得ておりますので、本年度に実施した特定保健指導に期待をしております。

（町民生活課行政報告【自治推進班関係】）

次に、自治基本条例の推進についてであります。2月1日に、大阪ボランティア協会常務理事の早瀬^{はやせ}昇^{のぼる}氏を招き、「住民が主役！ 協働のまちづくりのすすめ」と題して講演会を開催し、約170名の町民の皆さまに聴講していただきました。

さらに、自治基本条例の中学生に対する説明につきましては、東中中学校に続き、上富良野中学校3年生115名に対しても授業教科の一環として条例の内容及び協働のまちづくりの必要性について説明をさせていただいたところであります。

（町民生活課行政報告【税務班関係】）

次に、町税等の収納対策についてであります。平成21年度9月定例町議会報告以降の町税等の徴収対策状況については、預金調査418件の財産調査を実施するとともに、所得税還付金4件、銀行預金4件の差押えを執行し、83千円の換価収納をいたしました。

また、昨年に引き続き上川支庁管内市町村合同納税窓口に参加し、共同呼出18名、町税分催告23名を対象に納税催告し、町税等368千円を徴収いたしました。

さらに、12月期において、夜間・休日納税相談窓口を開設し、344名に対する呼出催告により218件の納税相談を実施し、町税等8,196千円を徴収しました。

次に、例年実施しております平成21年分所得税の確定申告の受付けについては、2月16日から3月15日までの期間、また消費税及び地方消費税の確定申告については、2月16日から3月31日までの期間で実施しており、町民の方が混乱を来たさないよう所得税の申告と同時に相談・受付の対応を図っているところであります。

（町民生活課行政報告【生活環境班関係】）

次に、上富良野町地域省エネルギービジョン及び地球温暖化対策実行計画の策定状況についてであります。地域省エネルギービジョンにつきましては昨年7月から着手し、これまで5回の策定委員会を開催して、今年2月末をもちまして策定作業を終了いたしました。

また、地球温暖化対策実行計画につきましては、地域省エネルギービジョンを基に、町内における温室効果ガスの排出抑制に向けた対策を総合的かつ効果的に推進することを目標に、これまで4回の策定委員会を開催して、今年3月末をもって策定作業を終了する予定であります。

今後につきましては、地球温暖化対策実行計画及び地域省エネルギービジョンに基づき、町といたしましても温室効果ガスの排出抑制に向けた様々な取り組みを講じてまいりますとともに、町民のみなさまにも省エネルギー行動の推進に向けた普及啓発活動に積極的に取り組んでまいります。

次に、昨年11月から始めています不燃ごみ指定袋の切り替えの状況についてであります。役場において差額シールの買取・販売窓口を開設するとともに、指定販売所の店頭などにも混乱が起きないように掲示するなど対策を講じてまいりました結果、現在のところ特に混乱も無く順調に切り替えが進んでおります。

今後におきましても、引き続き町民の皆様の利便性が図られるよう買取販売窓口を開設してまいります。

（産業振興課行政報告【農業振興班関係】）

次に、農業関係であります。去る1月29日午後6時ごろ、旭野地区「かみふらの牧場」肥育舎から火災が発生し、被災施設をはじめ、出荷前の成豚も含めた多数の

肉豚に被害が及びました。上富良野消防署の要請により、上富良野駐屯地並びに多田分屯地の両消防ポンプ班にも消火協力をいただき、午後9時49分に鎮火いたしました。肥育舎6棟、車庫1棟、車両1台が焼失、また被災施設内で肥育されていた肉豚5,020頭の内、3,623頭が廃棄処分にせざるを得ない状況となりました。廃棄処分となったものの内、832頭については、町が設置しております「へい獣処理施設」において埋却処理を、そのほかについては民間の処理施設において焼却処理が行われたところであります。

「かみふらの牧場」につきましては、特産品である「かみふらのポーク」の生産に中心的役割を果たし、さらには多くの町民の方を雇用する当町の中核企業であり、一刻も早く、通常の生産活動が行われるよう願っているところであります。

次に、農業後継者関係についてであります。農業後継者として生産活動はもとより、野菜直売店の経営など、戦略的な農業を展開されている江花地区の^{やすまる}安丸^{ちか}千加さんが、去る3月4日・5日の両日、東京で開催された「青年農業者会議全国大会 アグリメッセージ部門」の北海道代表として参加されました。

^{やすまる}安丸さんは、農業の世界がいまだ男性中心であるがゆえに、女性後継者への偏見や男女差別的なものを感じたという悔しさや社会への疑問、また直売所開設によって得ることができた刺激や楽しさ、さらには女性が自らの感性を生かし、それぞれの力が発揮できる生き方を目指すことなどを意見としてまとめ、1月に行われた全道大会において最優秀賞に輝き、今回、全国の晴れ舞台での発表となりました。

農業に限ったことではありませんが、後継者不足が常態化している中で、今回のこの出来事は、町にとっても大変喜ばしいことであり、後継者施策の推進について、さらに力を注いでまいります。

（産業振興課行政報告【商工観光班関係】）

次に観光関係であります。今回で46回を数えます「かみふらの雪まつり」を、日の出公園を会場に2月7日に開催いたしました。会場には、上富良野駐屯地第2戦車連隊制作による滑り台付き大雪像1基と、建設業協会制作による大迷路が設置され、約1千人の町民の方々に、冬の1日を楽しく過ごしていただけたものと思っております。昨年同様、前日の6日には滑り台と大迷路を先行開放し、多くのお子さんに楽しんでいただきました。

当日には、幼児の部と小学生の部に分けた宝さがしゲームやスノーモービルなどの体験搭乗、共催いただいた「新しい富良野・美瑛観光を考える実行委員会」による嗜好を凝らしたイベントが行なわれるとともに、ステージでは駐屯地音楽隊の演奏も披露され、会場内は多くの人で賑わい、楽しく終えることができたところであります。

雪像制作から当日まで、ご支援、ご協力をいただきました陸上自衛隊、建設業協会、女性団体連絡協議会、自衛隊協力会女性部をはじめ、各関係機関及び協賛いただいた皆様に感謝を申し上げます。

また、雪まつりと連動し、6日と7日の両日、見晴台公園及び深山峠駐車場を会場に、新たな冬の観光を模索する取り組みとして「ウィンターサーカス2010」が開催され、町内外から多くの方が会場に訪れ、特産品のPRや交流など、有意義な活動が展開されたと報告をいただいているところであります。

次に、2月8日から10日の3日間、保健福祉総合センター「かみん」において、中国語の語学研修講座が開催されております。これは、富良野・美瑛広域観光推進協議会の広域観光圏事業として、「かみふらの十勝岳観光協会」が主管して行なわれたものであります。

中国上海在住の上富良野町国際観光大使 おう ししゅう 王思椒 氏を講師に迎え、広域の観光施

設・宿泊施設などに従事されている方を優先対象として、定員30名で行なわれました。内容は、簡単な挨拶や日常会話の学習を中心としたもので、中国人旅行者の特性なども含めた講師のお話しに、定員を満了した30名の受講者は、熱心に聞き入り、学習されておりました。

今後、増加が予想される中国 上海・北京からの観光客の接遇対応に、大いに役立つものと考えておりますし、この語学研修に講師として来日くださいました ^{おう}王 先生に心から感謝申し上げる次第であります。

(町立病院行政報告)

次に、公立病院に対する国の財政措置の充実に関する要請結果についてであります。

一昨年末に国から示された公立病院に関する財政措置の改正では、過疎地域や救急医療等に関する財政措置が充実されましたが、一方で不採算地区病院の対象要件の見直しにより、道内では本町を含む4つの公立病院が対象外となりました。このことは、地域医療の崩壊に繋がるものとして、該当自治体や町議会をはじめ、北海道と北海道町村会及び北海道自治体病院開設者協議会が連携しながら、国及び関係省庁、更には道内選出の国会議員などに対し、激変緩和措置を求めて粘り強く要請行動を展開してまいりました。

その結果、昨年末の省令改正で平成21年度から25年度までの5カ年間を経過措置として、特別交付税において平成20年度末の一般病床数を対象にした財政支援策が決定されたところであります。

このことは、町議会はもとより、北海道、北海道町村会など関係機関のお力添えの賜物と衷心より感謝申し上げます。

地域医療を取り巻く環境は、厳しい状況にありますが、今回講じられました国の激

変緩和措置を生かし、経営健全化に努めると共に、町民に信頼される病院として、その使命を果たしてまいりたいと考えておりますので、今後とも議員各位の特段のご支援、ご協力をお願いするところであります。

（教育振興課行政報告）

次に、成人式についてであります。1月10日、保健福祉総合センター「かみん」において、町議会議員をはじめ、多くの来賓各位のご臨席をいただき、挙行いたしました。

新成人116名の出席のもと厳粛な中で式典が行われ、成人としての門出を祝福したところであります。

次に、上富良野高校に係る事項について報告させていただきます。

昨年7月13日に平成22年度から平成24年度における公立高等学校配置計画案が北海道教育委員会より示され、上富良野高校については現状維持となっておりますが、本年4月入学の志願状況については多くの関係者のご努力により、例年になく42名となっており、その中でも地元の中学校卒業者が28名であります。

存続については依然として厳しい状況にありますが、今後においても、上富良野高校への入学希望者が増加し、地域に根ざした特色ある高校として存続できるよう町といたしましても町民の理解と協力をいただきながら努力してまいります。

（総務課行政報告【企画財政班関係】）

最後に建設工事の発注状況についてですが、12月定例議会の報告以降に入札執行した建設工事は、1月26日現在で、件数で4件、事業費総額9千885万7千500円と

なっており、本年度累計では、59件、事業費総額10億2千676万3千500円となっております。

また、平成22年第1回臨時議会において予算議決いただいた、地域活性化・きめ細かな臨時交付金を財源とする建設工事については、諸手続きを進め早期発注に努めてまいります。

なお、本年度の詳細については、お手元に「平成21年度建設工事総括表」を配付しておりますので、後ほどご高覧いただきたく存じます。